

平成28年度 第30回関東クラブバスケットボール選手権大会 派遣報告書

東京都ミニバスケットボール連盟 井澤 元花

会場	千葉ポートアリーナ	派遣期間	平成29年2月4日(土)・2月5日(日)
大会名	第30回関東クラブバスケットボール選手権大会		
参加チーム	【男子】 東京 : RBC 東京・葛飾バックボーン 山梨 : 韮崎スピリッツ・CERAMICS 茨城 : CB アルポラーダ・谷田部クラブ 群馬 : ALSOK GUNMA CLUB・ROYALS 千葉 : 鎌ヶ谷クラブ・千葉ジェッツネクスト 神奈川 : Happy People・横浜ギガスピリッツ 栃木 : 白鷗大学 B・BREMEN	【女子】 東京 : AFBB・mamas 山梨 : 鶴友クラブ・韮崎 KAS 茨城 : 東海クラブ・Team DADA 群馬 : 富士スバル・サントノーレクラブ 千葉 : QUEEN BEE・鎌ヶ谷クラブ 神奈川 : Bright・AOBA 栃木 : TBC・United	

スケジュール		
2月3日(金)	18:00	審判会議
2月4日(土)	9:00	競技開始
	18:30	競技終了
2月5日(日)	8:00	審判レクチャー
	9:00	女子準決勝開始
	15:40	男子決勝終了
	16:00	解散

審判ミーティング	指名審判員 増渕 泰久 氏(栃木) 小坂井 郁子 氏(神奈川)
<p>①コート上でやるべきこと</p> <p>●ルールに沿った正しい判定</p> <p>ゲームを円滑に進めるためには、ルールの理解と、それをコート上でルールに沿って当てはめていく作業が必要である。ゲームが始まる前は、タイマーや24秒計の音の確認やタイマーと24秒計は連動しているのか、ゲーム中には、フリースローやタイムアウトの数、フリースローシューターは正しいのかといった、トラブルを未然に防ぐ確認を常に行っていく必要がある。</p> <p>また、多くの情報収集をすることによって、正しい判定に結びつけることができる。</p> <p>情報収集(キャッチ) ➡ 判断(ジャッジ) ➡ 判定(アクション)</p> <p>良い位置取りと正しいルールの理解を適応し、それを笛で表現をしていく。</p> <p>その中で、自分の苦手な現象を見つけ、次に活かしていくことが上達する第一歩である。</p> <p>②コート上でやるべきこと</p> <p>●確認の習慣化</p> <p>1ゲームの中で、レフリーが行わなければならない確認はいくつぐらいあるだろうか?</p> <p>周囲の状況、アロー、24秒オペレーター、プレーヤーのファールの数、タイムアウトの請求のタイミング、交代...</p> <p>行すべき確認は数えきれないほどある中で、今の自分自身が行っている事はいくつあるだろうか?</p> <p>一つ一つの確認を常に行うことによって、それが習慣化される。その事が、やはりトラブルを未然に防ぐことに繋がると、レクチャーをいただいた。</p>	

担当試合

日時・会場	対戦	相手審判
2月3日 (土) 第5試合 15:20~ 千葉ポートアリーナ	女子2回戦 東海クラブ(茨城) - 鎌ヶ谷クラブ(千葉)	主審: 小坂井 郁子 氏 (神奈川) 副審: 井澤 元花

ミーティング内容

審判主任: 中嶽 希実子 氏

- ・一つ一つのプレーに対する事実の確認が薄い。リードからは見えないスペースを、トレールが下がって見に行く必要がある。常にプレーが変わる中で、オフェンスとディフェンスの間で起きている事実を確認するために、レフリーも常に動かなくてはならない。
- ・笛でプレーが止まらないときがある。笛の吹き方、タイミングといった様々な要因が、選手に伝わらない笛になっている。

審判レクチャー 関東協会審判長 渡邊 整 氏 (栃木)

日時 2月5日 (日) 8:10~ 会場 千葉ポートアリーナ審判控室

正しい判定のために 2PO

正しい判定をするためには、ブラインドからの判定をしないこと、動きながらの判定をしないこと、動いてスペースを見に行くこと、といった様々な要素があるが、1人で審判をするのではなく、相手と2人で見る意識を持つ必要がある。

セットアップポジションといった言葉だけが一人歩きしてしまい、動かない人が多くなってしまっている。角度と視野を求めて位置を変えることは何も変わっていないため、オールウェイズムービングをもっと実践すべきである。1対1だけではなく、次のプレーを考えて事前に少し動いておけば、パスがとんだ時など間に合う動きができる。

【TRAIL】

- ・エリア3にボールがあるとき、寄ることは必要だが、その後の展開に遅れないよう、事前に予測して動く。デッドゾーンに備えた動きをする。
- ・フリースローラインまで下がることも必要である。
- ・cross step ➡ ドライブとは逆への動きをすることも必要。
- ・1対1だけではなく、次のプレーを考える。
- ・Primary をより強く意識をする。

【LEAD】

- ・close down ➡ 次のプレーに備える (右に行く準備)
- ・no working area ➡ 留まらない (近いと見えなくなってしまう)
- ・ボールが動いているからといって、エリア3~4をすてて右側に行ってはいけない。

総括

今回初の関東派遣を経験させていただき誠にありがとうございました。

所属連盟の違うクラブの関東大会ということで、初めてお会いする各県を代表するクラブの審判員の方々と交流を深めることができ、たくさんの刺激を受けることができました。

また、普段自分自身が担当する割り当てでは経験することのできないようなプレーヤーのバスケット技術やプレーの質といったことを目の当たりにしたことで、今後の審判をする上での判定の引き出しを多く収穫できたと感じています。自分自身の足りないところも多く見つけることができたため、それを今後の課題とし、審判活動

を一層充実させていきたいと思ひます。

最後に、今大会の開催県である三好審判長をはじめ千葉県の皆様に感謝申し上げます。また、ご指導いただきました関東協会審判長渡邊審判長、派遣をしていただいた久保委員長、関東ブロックの審判員の皆様に重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。